

令和6年度定期監察結果（概要）

1 趣旨

「職員の不祥事の未然防止」に繋げるため、職員の倫理観等に関するアンケート調査を実施

2 視点

- （１）職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上
- （２）不祥事防止に向けた取組

3 監察概要

- （１）アンケート対象所属：１所属
- （２）アンケート対象区分
 - ①所属長等職員（担当リーダー以上） ②それ以外の職員
- （３）アンケート項目
 - １０問（コンプライアンス５問、ハラスメント５問）
- （４）アンケート実施期間
 - 令和７年２月１８日から同年２月２８日まで
- （５）調査対象者数及び回答者数
 - ① 所属長等職員対象者 ７人 回答者 ７人（回答率１００．０％）
 - ② それ以外の職員対象者１５２人 回答者１４６人（回答率 ９６．１％）

4 監察結果

- （１）コンプライアンス
 - ・ 「倫理条例、規則」を読んだことがある割合は、昨年度に比べ、所属長等職員では低下、それ以外の職員ではほぼ横ばいとなっている。
 - ・ 「利害関係者との間における禁止行為」及び「倫理条例、規則に基づく報告、届出のルール」について知っている割合は、所属長等職員では１００％であるが、それ以外の職員では昨年度に比べて低下している。
- （２）ハラスメント
 - ・ パワハラ、セクハラについては、所属長等職員、それ以外の職員いずれも「受けたことがある」との回答があった。
 - ・ 「セクハラ・パワハラがあれば指摘し合えるか」については、所属長等職員では１００％であったが、それ以外の職員ではと３割～４割程度の職員が「いいえ」と回答。
 - ・ 「ハラスメントを受けたと感じたら、どこに相談しますか。」との問いに対して、所属長以外の職員で「ハラスメント窓口」と回答したのは１４．４％。
 - ・ 「ハラスメント相談窓口に対する要望」として、「外部の人による対応」を希望する回答が多かった。また、所属長等以外の職員では「匿名のメールも受け付けてほしい」と回答も４割以上。